

詩

奨励賞

泣いてもいいのに

西軽海町 中座 久美子

積もった雪の上から
紅葉した雑草がイガグリ頭のように
顔をだしている
おもわず 雑草の強さに
怒りを感じた

主人がなくなつた時
一心に生きる私の姿をみて
母はそんなに強くならなくても
いいといった言葉を思い出す

誰れもない家の中
どこで泣いてもいいのに
涙がでなかつた

しかし頭を洗う時シャワーをかけると
涙が滝のようにシャワーと同時に流れる
シャワーが止まると涙が止まった
そんな自分の姿に
奇妙に感じた

時を経て やつと思う
もつとすなおに泣けばいいのに
泣くこともできない
心の病気があるのかと
今は思う